

平成30年度

会館だより 第3号

岩手県学生会館(岩手県学生寮)会報

岩手県学生会館

平成30年7月17日
発行

新代表からのメッセージ

若いときの友は 人生の友であり、 財産である

公益財団法人岩手県学生援護会 代表理事 松橋公治



この度、当会館の運営にあたっている岩手県学生援護会の代表理事に就任しました。昨年就任された志賀節氏が体調を崩されたことから、急遽の登板です。出身は軽米町で、高校時代を盛岡で過ごしました。

所属大学で31年目を迎えますが、そのうち延15年、奨学金や部・サークル活動などの学生生活全般を支援する学生部の仕事に携わりました。大学の中における学生の生活を見てきましたが、これからは学外におけるそれを見ることとなります。必ずやその経験が活かせるものと、多少とも自負しています。

私も大学の5年間、寮で生活しました。

つくづく思うのは、「若いときの友は人生の友であり、財産である」ということです。その多くが偶然の出会いでした。偶然の意味は自ら「選んでいない」という点がポイントです。趣味や好みから結びつくネットの出会いとは対照的です。偶然の出会いには多様性を産みだし、自分の多様な鏡つまり自分の多様な可能性を発見する、そして多様性を認め合う寛容性を育む源でもあります。

これから君たちは大学の専門や仕事を中心にして日常的な「強いつながり」がますます拡大していくことでしょう。ただし、人生を豊にしてくれるのはこの「強いつな

がり」ばかりではなく、実は上記の偶然の出会いの積み重ねの中で得られる非日常的な「弱いつながり」も重要なのです。「弱いつながり」は「強いつながり」のコアな友・つながりを支える「広い裾野」であり、人生を豊かにする大いなる「脇役」なのです。寮や大学ほかでの友を大切にして下さい。

略歴

- 昭和47年 盛岡第一高校卒業
- 昭和53年 東京都立大学卒業
- 昭和58年 東京大学理学系研究科地理学博士課程中退
- 昭和58年 茨城大学教養部専任講師
- 昭和61年 茨城大学教養部助教
- 昭和63年 明治大学文学部助教
- 平成5年 明治大学文学部教授
- 現在 明治大学副学長兼学生部長
- 平成20年
- 27年



昭和46年
代表最後の夏の一コマ

平成30年度 公益財団法人岩手県学生援護会

理事会並びに評議員会報告

平成30年度公益財団法人岩手県学生援護会第2回理事会が5月8日(火)、永田町の都道府県会館にある岩手県東京事務所分室で開催されました。理事6名が参加して開催された理事会では、平成29年度事業報告、同経過報告、同会館運営方針評価が事務局から提案され、満場一致で承認されました。次に平成29年度収支決算報告及び監査報告がなされ、審議した結果、満場一致で承認されました。さらに、役員改選が議論され、任期満了となる理事の中で、太田副代表、砂金業務執行理事、坂本理事が評議員会に再任候補として推薦されることとなりました。

続いて5月25日(金)には評議員6名出席の下、第2回評議員会が岩手県東京事務所分室で開催されました。理事会同様平成29年度事業報告、収支決算報告共に全員により承認されました。また、理事会から推薦のあった3名の理事の再任が決定されました。

次に役員並びに学生会館職員をご紹介します。

平成30年度 公益財団法人岩手県学生援護会役員

- 代表理事 松橋 公治 (明治大学教授)
- 副代表理事 太田 知行 (在京岩手学生会会長代行)
- 業務執行理事 砂金 良明 (TBSサンワーク執行役員)
- 理事 瀨川 爾朗 (東京大学名誉教授)
佐々木裕二 (岩手県学生会館館長)
坂本 已由 (社会福祉法人理事)
- 評議員 石杜 有慎 (岩手日報社東京支社長)
石川 健正 (岩手銀行東京営業部長)
柴田彩千子 (東京学芸大学准教授)
小野寺麻利子 (作家 藤沢摩彌子)
及川 良一 (国立音楽大学教授)
永田 浩一 (J-R貨物取締役兼執行役員)
- 監事 平野 直 (岩手県東京事務所長)
千葉 健夫 (社会保険労務士)
- 相談役 谷藤 裕明 (岩手県市長会)
石原 弘 (岩手県町村会)
佐藤 博 (岩手県総務部長)
高橋 嘉行 (岩手県教育長)
- 顧問 志賀かう子 (エッセイスト)
鈴木 勲 (日本弘道会会長)

学生会館職員

- 館長 佐々木裕二
- 寮母 佐々木由美
- 書記 樺澤理恵子

- 主たる委託業者
- ・建物包括管理 二幸産業株式会社
- ・給食業務 株式会社グリーンハウス
- ・日常清掃 東京管財株式会社

新しく学生援護会の役員を引き受けてくださった松橋代表理事、及川評議員、永田評議員の各氏には心から感謝申し上げます。同時に今後のご活躍を期待申し上げます。また、理事を退任なされた鈴木元代表は今後は本会顧問として、さらに大所高所からのご指導をいただくことになりました。厚く御礼申し上げます。

なお、岩手日報社東京支社長の異動がありましたので、評議員の変更が予定されております。

平成三十年七月十七日発行

編集並びに発行元 公益財団法人岩手県学生援護会

岩手県学生会館

同 学生自治会

住所 東京都豊島区要町二丁目5番5号

TEL 03(3972)4783

FAX 03(6676)4471